

連番	意見、質問等	対応状況
1 2	【質問】 教養科目群の「人間と社会」や「歴史と文化」において「国際関係論」「環境と生態」「東北生活文化論」「異文化コミュニケーション論」等を開講するとあるが、それらに加えて「文芸演習」「食文化論」も開講したということなのか。	お見込みのとおりです。
2 3	【質問】 「異文化コミュニケーション論」のほか、「フランス語」も開講したのか。	お見込みのとおりです。
3 4	【質問】 Ⅲ(年度計画を十分に実施している)との評価だが、標準が不明確。目標はどのくらいに設定しているのか。	年度計画に掲げた科目を開講するという目的を達成したことから、Ⅲ評価としたものです。
4 6	【意見】 進学相談会等の実績について、「高校等の担当教員へ本学をPRするため、高校64校を訪問」、「本学の教員が高校16校で講話、模擬授業を行った」とあるが、県内、県外などもう少し具体的に記載してはどうか。	訪問64校の内訳は、県内30校、県外34校。講話、模擬授業実施校16校の内訳は、県内6校、県外10校です。
5 9	【意見】 コンソーシアムの活動があまり見えないので、対策をすべきでないか。	大学コンソーシアムあきたの事業は、高大連携授業が主体で高校生が対象ということもあり、一般向けの公開はしておりませんが、Webページを設け、県内高校に各大学をPRしているものです。
6 12 13	【質問】 入学者選抜試験について、現状を踏まえた検討は行われたのか。検討の結果どうすることにしたのか。	入試改革WGを設置して検討した結果、30年度に推薦選抜方法の変更などを行うこととしたものです。
7 16	【意見】 自己評価が前年のⅣからⅢに下がっているが、28年度の業務実績を読んだ限りでは、前年度よりも評価が上がっていてもおかしくないように感じるため、評価が下がった理由を記載すべきではないか。	平成27年度は、教育実習などの実施に加え、上越教育大学との連携協定を締結するという計画を上回る実績があったことからⅣ評価としていましたが、28年度はこのような顕著な実績ではなく、「年度計画を上回って実施している」とはいえないと判断し、Ⅲ評価としたものです。
8 16	【質問】 自己評価をⅣからⅢにした理由は何か。	
9 19	【質問】 授業参観公開科目は123科目あるが、参観した教員が延べ13人では少ないか。	教員の参観の状況は、芳しくなかったと考えます。なお、公開した授業は、最終回の講評の授業が多かったところ、複数の公開授業が同じコマに重なったケースが目立ったほか、参観したい授業が自分の担当授業と同じコマで参観できなかったという声も聞かれました。
10 24	【質問】 「学則の規程など必要な情報を記載した」とあるが、新たな規程を設けたのか、それとも規定のことか。	シラバスに、必要な情報として学則と履修規程、学位規程などを記載したものです。
11 26	【質問】 学生の主体性や理解度をあげる授業内容と授業運営方法について意見交換をするとあるが、第1回授業研究会として赤れんが郷土館で退官記念展の場で意見交換などが行われたのか。	第1回授業研究会は、赤れんが郷土館で実施した退任記念展において、渡邊教授が、展示している題材を元に授業計画と授業運営方法および授業成果を披瀝し、教員の工夫が授業成果にどう表れるか深く知り合えるよう、意見交換を行ったものです。
12 28	【質問】 厚生棟とはどこのことか	厚生棟とは、食堂や売店が入っている建物のことです。

連番	意見、質問等	対応状況
13	30 【質問】 年間観覧券の具体的な購入額はいくらか。	年間観覧券の購入額は、県立美術館が705,500円、千秋美術館が415,000円で、計1,120,500円です。
14	39 【質問】 教員評価を試行したとあるが、今後どう活用していくのか。	試行の結果を本格実施に向けての検討材料としてまいります。
15	41-2 【質問】 新任教員等に対する各種機器の活用研修は、だれがどのような形で実施したのか？新任教員等の反応はどうであったか？	新規採用職員研修のメニューの一つとして、新規採用教職員に対し、学内情報システムの管理担当者が、学内コンピュータ室で学内情報システム(メールシステム、ファイル共有システム、グループウェア、学内ネットワーク等)の構成と使用方法、使用ルール等についての解説を実際に操作してもらいながら行ったものです。
16	41-2 【質問】 自己評価をⅢにした理由は何か。(H28からの新項目)	学内情報システムの取扱いについて、研修終了後に特にクレーム等は寄せられておらず、研修の成果が十分得られたと判断したため、Ⅲ評価としたものです。
17	41-3 【質問】 自己評価をⅢにした理由は何か。(H28からの新項目)	FD委員会の委員1名が、平成28年度東北地域大学教育推進連絡会議(会場:東北大学)に参加し、地域連携による大学カリキュラム開発についての事例を学ぶとともに、今後の大学の授業改善につながる手法について情報共有しました。また、同研修の内容をFD委員会において報告し情報共有しており、計画を十分に実施していると判断したため、Ⅲ評価としたものです。
18	54 【質問】 評価指標では、進路決定率100%の目標に対し、86.02%の実績だったが、自己評価をⅢ(年度計画を十分に実施)とした理由は何か。	「進路決定率100%」という目標は、進路希望先が決まらない卒業生は一人もない状態であり、かつ、就職希望者は内定をもらい、大学院進学希望者は大学院へ進学し、作家活動希望者は作家活動を行うというものですが、学生の事情は様々であるため現実として達成は困難であるものの、可能な限り達成を目指して努力していくことを目的として掲げたものです。多くの美術系大学の進路決定率が70%~80%台であることを踏まえると、進路決定率86.02%は美術系大学の標準を達成していることから、Ⅲ評価としたものです。
19	51 【意見】 学生の自主的活動は様々取り組まれており、評価はⅣでもいいのではないか。	前年度と比較して大幅に実績が増えていないことなどからⅢ評価としたものです。
20	56 【質問】 進路決定率86.02%だが、残りの約14%の状況はどうか。	内定を得られなかった13名については、出身地や東京などで就活を続けており、うち1名は東京の企業へ就職しました。他の卒業生には引き続き情報提供し、支援をしていきます。

連番	意見、質問等	対応状況
21	63 【意見】 自己評価が前年度のⅣからⅢに下がっているが、業務実績を読んだ限りでは前年度より評価が下がった理由がよくわからないため、評価が下がった理由を記載すべきではないか。	平成27年度は、BIYONGPOINTにおける展覧会を8件実施し、かつ年間を通してほとんど切れ目なく実施できた(展示日数計256日)ことからⅣ評価としていました。一方、平成28年度は、夏および秋から冬にかけて空白の期間が長くなり(展示日数計152日)、かつ展覧会の件数も減少しました。同スペースの積極的な活用を図ることを課題としていることもあり、Ⅲ評価としたものです。
22	63 【質問】 自己評価をⅣからⅢにした理由は何か。	
23	63 【質問】 前年度ⅣからⅢに評価が下落しているが、標準が不明確。目標はどのくらいに設定しているのか。	
24	63 【意見】 ケーブルテレビでの展覧会等について、あまり知られていない印象である。PR不足ではないか。	BIYONGPOINTで行う展示会については、都度、関係機関などへのチラシの配布とポスター掲示、大学Webページへの掲載に加え、報道機関へ投げ込みするなどしてPRしてきたものです。
25	66 【質問】 標準が不明確。目標はどのくらいに設定しているのか。	空き家を活用してアーティストinレジデンス事業を実施したことに加え、ガラス工芸作家を雇用し制作活動やガラスプロジェクトを実施するなどしました。これらの実績により、27年度と同様、計画を上回る実績があったと判断したものです。
26	72 【質問】 標準が不明確。目標はどのくらいに設定しているのか。	27年度と同様、本学主催の美術展を数多く開催したことから、計画を上回る実績があったと判断したものです。
27	73-2 【意見】 知的財産委員会において検討を開始したが、実施計画の立案までは至らなかったようで残念である。今期はぜひ実施計画の立案まで進めていただきたい。	平成29年度に改めて知的財産委員会を再編成したうえ、基本方針の策定と実施計画の立案を進めます。
28	73-2 【意見】 知的財産委員会における検討の概要を記載した方がよいのではないか。	社会貢献センターにおいて知的財産委員会を立ち上げし、基本方針策定の検討を開始したものの、方針策定と実施計画の立案までには至らなかったものです。
29	73-2 【質問】 知財管理の基本方針が策定に至らなかった理由は何か。	
30	77 【質問】 「アラヤチノ」の今後における活用も、「アラヤチノ」と同様のアーティストinレジデンスや展示スペースとしての活用になるのか？それとも「アラヤチノ」とは異なる活用方法となるのか？	アラヤチノは住宅であるため、アーティストinレジデンスや展示のためのスペースとして活用していますが、一方のアラヤチノは、印刷会社の元倉庫兼工場であり居住には適さないことから、展示スペースとして活用することとしています。
31	77 【質問】 自己評価をⅢからⅣにした理由は何か。	空き家のリサーチや利活用の研究および活用は、28年度においては学生が主体となりながら大幅に拡充して展開されました。地域へのインパクトも高まっているものと思われ、計画以上の実績と考えたため、Ⅳ評価としたものです。
32	78 【質問】 自己評価をⅢからⅣにした理由は何か。	文化庁事業の「AKIBI plus(ローカルメディアと協働するアートマネジメント人材育成事業)」を27年度から実施していますが、28年度は、県内の4つの地域(秋田、男鹿、五城目、角館)を芸術価値創造拠点と定めて、展覧会や講座を行ったほか、さらに各地域在住の方を講師としてワークショップを行っていただきました。様々なマネジメント手法を実践しながら、アートマネジメント人材の育成を図ったもので、計画以上の実績と考えたため、Ⅳ評価としたものです。

連番	意見、質問等	対応状況
33 81	【質問】 アートスクール等の参加者数が一桁台の企画や講座も少なくないが、これはどう評価しているのか。(適正なのか、少ないのか)	デッサンスクールについては、各講座を同時に同会場で実施している(一人の講師が各講座を同時に受け持ち)もので、参加者数は適正と考えております。 例)7月17日…7人+5人+3人 計15人
34 86	【質問】 海外からの留学生の受け入れ態勢と現状はどうなっているのか。	留学生の受入態勢については未整備で、これまでも受入の実績はありません。今後、留学生受け入れのための体制整備について検討していくこととしています。
35 94	【質問】 自己評価をⅢにした理由は何か。(H28からの新項目)	教員の採用を全て公募により行い、計画を確実に実施したことから、Ⅲ評価としたものです。
36 95	【質問】 自己評価をⅢにした理由は何か。(H28からの新項目)	大学間の人事交流を行ったことから、計画を十分に実施していると判断し、Ⅲ評価としたものです。
37 101 102	【字句訂正】 研修の項目であるが、項番96(人事評価制度)の一部再掲とあるのはなぜか。	項番96は誤りでした。正しくは、項番98の一部再掲ですので、お詫びして訂正させていただきます。
38 103	【質問】 科研費など外部研究資金の金額が21,154,965円となっているが、他の美大に比べて多いのか、少ないのか。	他の美術系大学の外部研究資金の獲得状況は一様ではありませんが、教員1人当たりの外部資金獲得額で見ると、平均的な水準となっています。
39 105	【意見】 管理的経費削減の評価をⅢとしているが、清掃業務委託における経費削減の実績に加えて、他公立大学法人対比でみた本学の一般管理費率の優位性を踏まえれば、Ⅳの評価もあり得るのではないかと思料。	年度計画を上回って実施したとまではいえないと判断したことから、Ⅲ評価としたものです。
40 113	【質問】 自己評価をⅢからⅣにした理由は何か。	教員、学生ともに積極的に多数の展示会を実施したことに加え、2点の書籍刊行を行うなど、前年度を上回る実績がありました。他のⅣ評価としている項目(項番72、75)との均衡も考慮し、Ⅳ評価としたものです。
41 113	【質問】 卒業研究作品展の賞品は、賞状やトロフィーといった正賞や副賞などはあったのか。	各賞に賞状とトロフィーを用意し、授与したものです。